

包括的な新たな若者の支援体制について

桑原 敏彦



【社会的孤立を生まない自立支援】

Q 若者の自立のための相談・支援体制について伺います。

A 自殺対策推進計画の策定、精神保健福祉相談の実施、地域包括ケアシステムの構築など、相談支援体制の充実に努めました。

Q つながりサポーターの養成と新たな行政組織の設置について考えを伺います。

A 国では孤独・孤立状態を予防するため、つながりサポーターの養成に取り組むとしています。国や県の動向を注視したいと考えています。

Q ニート等の若者の就業支援を行うため、地域若者サポートステーション事業を行うことについて伺います。

A 県と連携してジョブカフェ群馬北毛出張相談窓口を定期的に開設して相談を受けています。

Q 働く意欲ある若者が新しい一歩を踏み出せるように、農業体験から就農へつなげる居場所づくりについて伺います。

A 福祉の知見を有した就農による支援を行うことができる農業法人や農業者などとの連携が必要不可欠であると考えています。

【困難を抱える若者の就労支援】
Q 若者の自立支援のための職業訓練の推進について伺います。

A 引き続き、地域若者サポートステーション、ハローワークや商工団体等との連携を推進したいと考えています。

Q 企業との連携による新たな雇用の受け皿の創設について伺います。

A ハローワークやサポートステーション、ジョブカフェと連携を図りながら、就労の推進を支援したいと考えています。



市内における就労前訓練の様子